

本年度卒業論文題目 (五十音順)

哲 學

- 目的論的なるものと反省的判斷力
- ヘーゲルの精神に關する一考察
- 認識論的課題と形而上學的課題
- 普遍に就いて
- ニコラウス・クザヌスの段階説について
- ヘーゲルの精神現象學
- 歴史學の方法論
- カントに於ける人間の實踐
- アウグスチヌスに於ける惡の問題
- 歴史に於ける自由と必然
- 實踐理性の優位
- スピノザの認識論
- 西洋哲學史
- ベルグソンの時間、空間の問題より自由論に及ぶ
- 印度哲學史
- 數論學派に於ける因中有果論について
- 古 Opuntids に於ける Yajñavalkya の哲學
- 支那哲學史
- 老子道德經より見たる儒教に就いて
- 荀子禮學

- 伊佐 善城
- 兎玉 五郎
- 柴田 清
- 島津 勤
- 高橋 三義
- 中西 利理
- 鍋島 弘
- 野田 又夫
- 松村 克己
- 山崎 秀爾
- 山元 重磨
- 渡邊 義晴
- 荒木 敏謙
- 大塚 貫正
- 田中 巽
- 宇部宮誠之
- 佐藤 匡玄

心 理 學

- 繫辭傳に於ける思想
- 士昏禮用彫考
- 實驗類型學より見たる精神運動速度
- 「對比」に就いて
- 形の恒常性についての一實驗的研究
- 韓口語教育の一基礎的研究 ——五十音の
- 視覚的觸覚的把握についての一實驗報告——
- 劣等智能兒一般に於ける記憶作用
- 並にそれに關する一考查に就いて
- 再生法に依る二時程比較に就いての觀察
- ワトソンの心理學に就いての一研究
- 幻覺の發生に就いて
- 倫 理 學
- カントに於ける行爲と歴史
- カントに於ける道徳と宗教
- 自殺 論
- プラトンのパルメニデス篇に就いて
- シエリクに於ける意志自由論
- シュタウティンガーに於ける道徳と經濟との關係
- 教育學教授法
- 教育科學思潮の一般的動向と教育的生の理解
- パウル・ナトルプの教育思想
- 教育學教授法

- 辻村 富敏
- 平岡 武夫
- 遠藤 汪吉
- 鴻池 忠一
- 竹内左武郎
- 徳永 至
- 原 勁四郎
- 原 吉雄
- 布留 武郎
- 吉見 恒雄
- 川村喜久治
- 鈴木 丈夫
- 平野 順次
- 埴田 四郎
- 水野 秀夫
- 宮田 勝巳
- 内田 雄二
- 岡本仁三郎

フレイベルの宗教と教育

シルレルの美育の考察

ヘスマロッチー教育説の根本原理より見たる「人と環境」を論ず

教育の本質把握への手続

文化教育學の立場

美學美術史

藝術創作について

映畫の根本問題

宗教學

第一クレメンヌ書のキリスト

ノエシスの神

社會學

幕末に於ける無産者の研究

フイアカント共同會社關係優越論に就いて

アメリカ社會學成立の背景

母系原因論

佛敎學

道禪の傳並に敎判の一考察

十地經初地の研究

大乘起信論に於ける實踐的意義

金剛經に於ける菩薩乘の内容に就いて

曇鸞大師の研究

大乘起信論に於ける眞如、阿梨耶識に就いて

本年度卒業論文題目、寄贈雜誌、寄贈圖書

小嶋 次男

木村 正直

田中 健一

土屋 卓二

本城 徹照

永嶋吉太郎

森 一生

鎌田 俊雄

森岡 慶直

秋上 勳

竹川 徹

玉井 猛次

姫岡 勤

清原 章通

菅昌 顯敬

武宮 正

成田 榮固

本多 隆雄

遊龜山英隆

寄贈雜誌

哲學雜誌

社會學徒

勞作教育研究

生理學研究

丁西倫講演集

學校教育

精神科學

奈良縣教育

信濃教育

呂 慧

願 東

大 東

國 維

湖 弊

二月號

同

同

同

同

一月號

同

同

二月號

同

同

一月號

二月號

同

寄贈圖書

綜合漢學講義錄(第二卷)

山澤 指 歸

(遠藤隆吉編)

(東亞協會刊)

(菅原兵治編)

彙報

宗教學懇親會

三月六日(月)樂友會館に於て

心理學讀書會

◇二〇回例會 一月十八日(木)三時半

劣等知能兒一般に於ける
記憶作用並にそれに關する一考查に就て

◇二一回 一月二十六日(木)三時半

ワトソン心理學の一研究

實驗類型學より見たる精神運動速度の測定

◇二二回 二月二日(木)三時半

聾口啞教育の一基礎的研究

形の恒常性に關する一實驗

◇卒業生豫餞會 二月四日(土)六時 東洋花壇

◇二三回 二月九日

幻覺の發生に就いて

◇二四回 二月十六日

再生法による二時程比較

「對比」に就いて

倫理學研究會

一月二十九日(金)後七時より樂友會館に於て

感性的活動と理性

坂田 吉雄君

倫理學讀書會

二月二日(木)後一時より和辻教授研究室に於て

カントに於ける道德と宗教

鈴木 丈夫君

シエリンクに於ける自由意志論

小野 秀夫君

二月十五日(水)後一時より和辻教授研究室に於て

シユタウティンガーに於ける道德と經濟

富田 勝也君

カントに於ける歴史の問題

川村喜久治君

美學會

一月二十七日(金)樂友會館にて

美的空間に就いて

藤井 源一君

一月二十五日(水)樂友會館にて

テイルタイの文藝觀について

梶野 服君

二月三日 下鴨膳部町蕪庵にて本年度豫餞會を開く。

二月十四日(土)

ヘーゲルの美學說

諏澤 大郎君

原 勁四郎

布留 武郎

遠藤 汪吉

徳永 至

竹内左武郎

吉見 恒雄

原 吉雄

鴻池 忠一